

令和6年度第1回 厚真町津波防災地域づくり推進協議会  
議事要旨

○日 時：令和6年8月1日（木）13:30～14:30

○場 所：厚真町厚南会館 1階 大集会室（勇払郡厚真町字上厚真 219 番地）

○出席者一覧：

定池会長	阿部委員	村上委員	鈴木委員
有村副会長	大橋委員	高橋委員（代理）	大坪委員（代理）
館山委員	本間委員	京野委員（代理）	
曾根委員	澤口委員	石塚委員	
蛇池委員	吉田委員	辻委員	

○次第

- 1 開会
- 2 厚真町津波防災地域づくり推進協議会委員の紹介
- 3 報告  
(1) 令和5年度津波防災地域づくり推進協議会の検討概要
- 4 議事  
(1) 令和6年度津波防災地域づくり推進協議会の検討の進め方
- 5 閉会

○配付資料

- ・ 次第
- ・ 資料1 出席者名簿・配席図
- ・ 資料2 協議会委員等名簿
- ・ 資料3 令和5年度津波防災地域づくり推進協議会の検討概要
- ・ 資料4 令和6年度津波防災地域づくり推進協議会の検討の進め方
- ・ 参考資料1 令和5年度第4回 厚真町津波防災地域づくり推進協議会 議事要旨
- ・ 参考資料2-1 厚真町津波防災地域づくり推進計画
- ・ 参考資料2-2 厚真町津波防災地域づくり推進計画【概要版】

## ○要旨

### 1 開会

#### ●事務局

- ・公開をして本町の津波防災の取り組みを広く知っていただくために、本日は報道機関の方にもお越しいただいておりますので、どうぞご理解をお願いいたします。

(配布資料の確認)

- ・続きまして事務局を代表しまして、総務課防災情報グループ担当参事 小山よりご挨拶申し上げます。

#### ●総務課 防災情報担当参事

- ・事務局を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。総務課防災情報部担当参事、小山と申します。本日は大変お忙しい中、そして暑い中、本協議会に参加いただき誠にありがとうございます。
- ・平成30年9月10日に発災しました胆振東部地震から5年と11か月が経過しようとしております。
- ・私は4月から、防災担当をさせて頂いておりますが、3月までは胆振東部地震発災から復興に携わる仕事に従事しておりました。
- ・今回、厚真町が復旧から復興へのフェーズを歩む中で、この防災の取り組み、災害に強いまちづくりの取り組みについては非常に重要な取り組みとなっております。
- ・本会議にご参集いただいております皆様のご協力をいただきながら、先ほど起田から説明がありましたが、いま厚真海岸にもたくさんの方がお越しになられております。そういった方々、町民の方も含めて犠牲になる方がゼロになるための取り組みを進めていく中で本協議会での議論が非常に重要だと考えております。
- ・なにとぞ忌憚ないご意見を頂ければと思います。本日はどうぞよろしくをお願いいたします。

### 2 厚真町津波防災地域づくり推進協議会委員の紹介

(事務局より、厚真町津波防災地域づくり推進協議会委員の紹介)

#### ●事務局

- ・本日の協議会の出席状況でございますが、本日は代理出席者を含みまして17名の委員の方と2名のオブザーバーの方、及び随行者の方々と事務局を合わせて34名の協議会の構成員の皆さまにご出席を頂いております。
- ・本日所要により鹿沼自治会長様、厚真消防団長様は欠席をされております。また、副町長につきましては別公務のため代理出席とさせて頂いております。
- ・続きまして、本協議会会長定池様より本協議会の開始に当たりまして、ご挨拶を頂きたいと思っております。定池様よろしく申し上げます。

#### ●定池会長

- ・昨年度始まりましたこちらの協議会、昨年度に皆様のご意見をいただきながら、参考資料にあります計画、推進計画が作られましたけれども、今年度はこれらを深めつつ、また新たな議論を進めていくということで今回第1回ということでお集まりいただきまして。
- ・本日は今年度の進め方を含めまして議論を進めることになっております。

- ・出来るだけ忌憚のないご意見を頂きたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

●事務局

- ・ありがとうございました。それではここからの進行については定池会長にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

### 3 報告（資料3、参考資料1,2）

#### (1) 令和5年度津波防災地域づくり推進協議会の検討概要

●定池会長

- ・それでは早速議論の方に入っていきたいと思いますが、まずは報告事項ということで、事務局より報告事項の説明をお願いいたします。

●事務局

（事務局より令和5年度津波防災地域づくり推進協議会の検討概要について説明）

●定池会長

- ・ご説明ありがとうございました。令和5年度、昨年度の津波防災推進計画の検討内容についてご説明頂きました。
- ・全4回実施の協議会、全3回実施の地区懇談会、第1期から第3期にわたる津波防災対策の概要などについてご説明頂いたところではありますが、質疑応答の最初に、今年度から新たに委員になられた方を中心に、まず確認しておきたいことはありますでしょうか。

（ないことを確認）

●定池会長

- ・昨年度から継続の委員の方含めて、確認しておきたいことはありますでしょうか。

（ないことを確認）

●定池会長

- ・それでは議事の方に移らせていただきます。

### 4 議事

#### (1) 令和6年度津波防災地域づくり推進協議会の検討の進め方（資料4）

●事務局

（事務局より令和6年度津波防災地域づくり推進協議会の検討の進め方について説明）

●定池会長

- ・ありがとうございました。ただいま事務局から、令和6年度の津波防災地域づくり推進協議会、検討の進め方について説明をいただきました。
- ・まず資料の内容に関するご確認がありましたら承りたいのですが、いかがでしょうか？

（ないことを確認）

●定池会長

- ・それでは続いてご質問ご意見を受け付けたいと思います。
- ・ご意見を頂く前に前に昨年度との大きな違いですが、検討会というものが新しく増えています。また、協議会が昨年度4回開催しましたが、今年度は3回を予定していて、そのうち第2回は書面開催を予定しているというご提案でした。その背景となるのでしょうか、第1回目、2回目、3回目までの住民等の懇談会と今年度新しく始まる津波防災地域づくり推進計画第2期計画に係る検討会、こちらを3回目まで行った後に第2回の協議会ということで、その内容を踏まえて、協議会の11月の書面開催の内容では「懇談会、検討会の結果」というふうにお示し頂いているスケジュールでは記載しています。結果の共有をしたうえで、それらを反映した推進計画第2版の素案を示し、皆様にご意見を頂いて計画案に反映させていくという流れを予定しております。
- ・これらの進め方に関して、たとえば第2回の協議会も対面の方がいいのではないかとすとか、それぞれの協議会や住民等の懇談会、検討会において、こういった観点で話し合いをしてほしいですとか、こういったことを検討の中でご意見を聴きたいとか、ご意見などあれば伺いたいのですが、いかがでしょうか？

●鵜川漁業協同組合 澤口委員

- ・確認なんですけど、浜厚真の海岸と野原公園で地震だとか何か有事が起きた際のスピーカー等の連絡手段は、浜厚真海岸にはあるが野原公園にはあるのですか。
- ・避難してくださいとか、今こういう状況になっているだとか、そういうことを周知できるものはありますか。

●事務局

- ・ありがとうございます。
- ・まず浜厚真海岸は、町の防災行政無線は設置しています。防災行政無線で放送し情報をお知らせできるような体制にはなっています。それでサーファーの方に完全に情報を伝達できるかどうかの検証はできてないところでございます。
- ・野原公園には、防災行政無線を放送する設備は今のところございません。ただ、公園内のサッカーの事務所、事業者であるめぐみ水産がいらっしゃいますので、それぞれ町の戸別受信機は設置させていただいて、情報は聞きとれる体制になっています。

●鵜川漁業協同組合 澤口委員

- ・だれが避難を先導するのですか。
- ・めぐみ水産の社長が先導する？放送を聴いた人が先導するということになるのですか。

●事務局

- ・事業者には訪問されている方たちには、その事業者の完結になるかと思えます。

●鵜川漁業協同組合 澤口委員

- ・そんなことができるのですか。めぐみ水産の方が、放送を聴いて、何十人、何百人といるサッカー関係者に対し、「こういう状況なので避難してください」ということが言えるのですか。

●定池会長

- ・重要なお指摘ありがとうございます。
- ・頂いたご質問にお答えする前に、澤口委員からいただいたご意見を踏まえて、次回こういった協議会、懇談会、検討会の際に、今聞いていただいたような放送などの防災設備があるのかどうかという情報も共有したうえで議論していただくことをぜひしたいなということと、今頂いた防災行政無線で避難できるかということですが、これは協議会の意見ではなく、個人的な見解としてですが、それは非常に難しいと思います。現状では防災行政無線に頼ることはできない。今どうするかということと、今後どうするかということの二段構えの検討が必要であるということになると思います。
- ・現状おそらく、現実的な所では防災行政無線で避難の伝達がされる状況であると、形態等のエリアメールなどが入ってくると思われるので、そういうのを見た利用者の方々などとその場にいらっしゃる方々で「これは避難が必要だ」という判断をできる、そういった情報をキャッチできることが今の状態で考えられることだと思います。ただそれをどう誘導するのかというのは定まっていない状況かと思います。

●鵜川漁業協同組合 澤口委員

- ・浜厚真海岸と野原公園が同じシステムでみんなに周知できるようになるなら、漁業協同組合の港にも同時に情報が発信できる同じシステムがあればよいと考えていました。
- ・そうすれば、周辺の方に情報を認知してもらえと思い、質問しました。

●事務局

- ・ご質問ありがとうございます。
- ・町としても情報伝達手段をどうするのかは検討の材料で、昨年度消防庁の専門家を派遣していただいて津波の情報の発信の仕方等を相談させて頂きました。
- ・特にサーファーさんだとか、野外拡声器から、離れたところにどういう風に伝達がされるのかということも含めて相談させて頂いております。
- ・まずはご自身が持っているスマホで緊急地震速報や、津波の警報等がそれぞれ受信できるような体制のルール作りをしていただくということと、町の防災無線を活用するというところ、まずそれを前提に今後の検討会等で検討させていただくような形になるかと思えます。

●鵜川漁業協同組合 澤口委員

- ・わかりました。

●定池会長

- ・重要なお指摘ありがとうございます。
- ・今のご質問を踏まえた提案としては、先ほど申し上げたように情報伝達手段等の情報を得られる手段についても、どういうものがあるかをお伝えした上で議論をすること、あと今のお話の中で大切なことは、他にもありまして、行政が情報をどう伝えるか伝達手段と受け手の目線に立つとどのような手段、どのような方法で情報をうけとれるか。情報を判断してどう避難をするかということと、時系列を考えたときに漏れているところがないかという観点をもって検討していく必要があるかと思えました。ありがとうございます。
- ・続いて、高橋委員お願いいたします。

●消防署厚真支署 高橋委員

- ・厚真支署の高橋です。
- ・ただ今の意見なんですけれども、消防署は第一分団の管轄地区になります。第一分団の内規というのが令和2年に定められたものですが、私今上厚真分遣署に勤務しているんですけれども、たとえば大津波警報、注意報、震度5強等の情報が入った場合には、職員2名により、指令車（乗用車）により分遣所から野原公園、サーフィン会場、漁業協同組合さんと火力発電所に避難の呼びかけのみ行うということが定められています。
- ・こちらは、44分で津波が到達するという情報を基にして計画しております。活動時間は消防署が19分、私たちの避難時間を含めて19分となっております。いま危惧されたような消防署の放送設備で声が聞こえるかどうか。一か所で留まってしまうと次の箇所に行けなくなってしまうというのは私たちも危惧しているものになります。大変貴重な意見ありがとうございました。

●鵠川漁業協同組合 澤口委員

- ・自分たちはまだ状況がわかるからいいのですが、本日苫小牧港管理組合の方も参加していますが、当面5～6年、多くの作業員が港で働いている。自分たち厚真の人は当然避難できるかもしれないけれども、港湾で働く人に、会社は会社でちゃんと知らせるんだろうけれども、即座に知らせることが必要だとおもう。漁業協同組合付近にスピーカー設置してもらい、「津波だ、逃げろ」とみんなに一度に聞こえたほうが速いのではないかと思った。

●定池会長

- ・もしよろしければ、苫小牧港管理組合 京野委員よりコメント等お願いできますでしょうか。

●苫小牧港管理組合 京野委員

- ・東港区の周文ふ頭で耐震強化岸壁を造ってしまして、先ほど説明のあったとおりそこで作業員の方が令和9年度まで従事しています。その先には漁業協同組合の範囲であります、作業員が従事している範囲に防災行政無線が設置されていない状況であります。
- ・西港区にはついていますが、なかなか音の聞こえる範囲が限定されるというところもありますし、東港区にしてもこれからフェリーのお客さんが増える時期でもあります。今後、設置可能かどうかというところを調整していきたいとは考えております。

●定池会長

- ・ありがとうございます。

●事務局

- ・漁業協同組合についている放送用のスピーカーについては、新日本海フェリーの建屋のすぐそばにも同じものがついていますので、放送は聞けるのではないかと思います。

●定池会長

- ・ありがとうございます。

- ・今のようなこともすごく大切なことですので、情報伝達手段、そしてどこにどうい  
方たちがいるのか、町民だけでなく一時的に滞在されている方もいれば、ある期間作  
業員として従事されている非常に人数が多い状況にあるのかも踏まえて、短期的・長  
期的にどう対策を立てていくのかをこの協議会を通して検討していくことは、大切な  
観点をご提示いただいたと思います。
- ・直接いただいたご質問が、推進計画等に反映されるものもあれば、それ以前に、すぐ  
対応するものもあるかとも思いますので、そこをどうするかということは、発言して  
いただかなければ出来ないことですので、遠慮せずに気になった事があればせつかく  
の場ですので、ご活用いただければと思います。
- ・他に皆様で、ご意見とか確認しておきたいことなどありますでしょうか。

#### ● 浜厚真自治会 館山委員

- ・浜厚真では別の大きな事案を抱えていて、悩んでいる最中なんですけれども、先ほど  
から、事務局の説明の中に「住民の意見を聞きながら」という表現が再三でていま  
す。その「住民の意見」というのが、例えば会議の中で「ご意見ございませんか」と  
みなさんに問いかけてみなさんが黙っていると、「意見が承認された」と事務局は思  
うようなのですが、他の事案では、住民とよくお話していくと、わからないので質問  
できないというのが8割も9割も占めているのではないかと思います。
- ・というのも、今抱えている他の事案は4年前から厚真町から打診されている事案で  
す。ところが最近になって、「えーそんなことがあるの」というグループが2グルー  
プできまして、十数人のグループなんですけれども、勉強会を開くというのです。
- ・町からすれば、今更という気持ちもあるんでしょうけれども、地元に住んでいながら  
ですね、色々な事案に対する認識というのは、みなさんが考えているほど住民のみな  
さん現実に自分のことだと感じ取っていないと思います。
- ・その中で一番感じたのは、町の情報提供がいかにお粗末であるか。担当者は一生懸命  
やってくれているのは分かっているんですけれども、質問や意見を述べるにしても、  
全然こちらの知識も無ければ経験も無いような状態で「あなたはどう思うか」と聞か  
れても適当なことをいうのも失礼だし、だからといって考えてみても知識も経験もな  
いので、たかがしれた経験の中での検討ですから、問題にされないような結果で終わ  
ってしまう。よほど繰り返したら、一体全体立派な基本計画になるのかなあと思っ  
て、最近考えている。そのあたりを踏まえて、情報の提供の理解度というか、私ども  
はこういう会議を開いてくれるので、こういう会議を通じて知らないことはいくらで  
も教わっていければと思うんですが、他の住民の方はこういった機会も無いままに  
「避難施設についてどう思いますか」と聞いたところで、直接生活には関係の無い話  
なので、分かりません、で返事をします。そうすると町は「承認された」として進ん  
でいく。そういったことばかりあるので、現実とはかけ離れたものに進んでいくので  
はないかという心配を最近とみに心配しています。この会議の進め方自体ももう少し  
再検討して、本当の姿で、今みなさんと検討している事案は、命に直接結びつく事案  
でもありますから、今のまま進んでいくと思っていなかったような結果になってしまう  
ような心配をしながらお話を聞いているんですけれども、そこら辺事務局でご検討  
を頂ければと思います。

#### ● 定池会長

- ・事務局に答えていただく前に教えていただきたいのですが、情報提供の方法、住民が  
意見を言うために必要な情報をどうやって提供してもらうか、どのようにすれば情報  
が出るのかについてコメントをいただいたと思います。本協議会に関して、昨年度浜

厚真の方たちには懇談会で会館に集まって頂いたり、津波避難の当事者になるであろう方々に町の防災担当職員が一戸一戸訪問して説明や意見を伺ったりしたと思うのですが、ほかの方法や、期待する方法があるでしょうか。

● 浜厚真自治会 館山委員

- ・住民に納得してもらうためにはどういった方法が必要なのか、いろいろな方法があると思いますが、私がいま考えつくものではないです。
- ・別の事案についても、情報の提供を重視して、学校の勉強と同じで説明を聞いているだけだと理解できない人もいるし、勉強をしなくても理解できる人もいる。いろんな人が住んでいるのですから、そこに「どう思いますか」と説明をしたときに、どのように回答するのかなあとみていました。
- ・思い付きで回答する人はいると思いますが、自信をもって意見交換をしている住民はほとんどいないのかなと思います。最近の私の感じ方です。
- ・そんな心配をしながら、ことを進めてもいいのかなと思いながら会議に出ています。これからの会議も同じように進めていくのか、会議のやり方を改めて検討して、みんなが納得してできる進め方をしていくのか。
- ・防災施設で避難して被害を受けた事例も東北の地震の時にあったわけですから、この協議会で自分のこととして受け止めてもらうには、なにかないかと思いました。私の考えだけなので、みなさんにすれば通用しない話なのかもしれませんが、何か聞いてほしいと思ひまして私の意見を述べました。

● 定池会長

- ・避難施設のこともありますし、4年前からの別の大きな事案ということで、浜厚真の住民の皆さんが当事者になることが続いて不安が高まっていて、情報提供の在り方、自分たちで判断する情報の取り方であるとか、話し合いのプロセスの在り方についていろいろと思いを巡らせて頂いていることをお話しいただいたのだと思います。
- ・いまのご発言について、事務局より回答をお願いします。

● 事務局

- ・貴重なご意見ありがとうございます。
- ・確かに住民の方と話をしていく中でどこまで納得感のある施設にしていけるかと思ひます。これまで町が様々な施設を設置する際に、完成した後で住民の方から意見の相違があったりということは繰り返してきたところがございます。当然そういったことが極力ないように会議の進め方であったり、意見の集め方は随時改善をしていきたいと考えております。
- ・会議の中でお話ができる方、会議ではなかなか発言が難しい方もいらっしゃるということで、定池会長からもお話ありましたが、会議体はこういう形で参加できる方、ご意見を聴きながら改善をしていきますが、それ以外にも個別のヒアリングなど、時間が許す限りとはなりますが、昨年度から引き続きの取組みを随時、行っていこうと考えております。
- ・どこまで時間がかけるかという制約はございますが、町としても情報は極力開示をしながら多くの納得をいただける形での議論の進め方、特に施設整備、道路などのハード整備は今後何十年残るものになりますので、これからの世代も自信をもって使うことができる施設になるように年代も様々な方にお伺いをできればと思ひます。

●厚真町 大坪委員

- ・館山委員からお話があったように、町としても情報発信を極力すみずみまで詳しく伝えるよう努力しているつもりです。やはり、いろいろな計画含めてなのですが、地域のコミュニティに頼っていかなければならない部分が多いと最近非常に強く感じています。ですから、何か地域自治会の皆様が一同に会する場でなくても、すこし小さい集まりなどで、例えば津波の計画を行っているなどそういう話をしていただける場を作っていただきたい。昔であれば地域コミュニティがもっとしっかりしていて、こちらからそういったお願いをしなくても、自然に話が地域で出されたと思いますが、時代が変わってきて、どんどん薄れているような気がします。今回たくさんの自治会の方に参加いただいているので地域の場で情報共有できる形も、ぜひご協力いただければと思います。

●鶴川漁業協同組合 澤口委員

- ・地域の場で自分が説明すると、自分に説明責任があるかのようにになってしまう。自分が提案したことじゃなくても、「町がいまこういう計画を立てている」と説明すると、自分が責任を受けるようになってしまう。

●厚真町 大坪委員

- ・すべて責任をとっていただくつもりは町としては無く、遠慮せず気軽に役場の方に「説明に来てほしい」と言って頂ければ職員は説明に伺います。

●定池会長

- ・澤口委員や他の方もそうかと思いますが、自治会長の方々はこの協議会に関することだけでなく町からのお知らせなど含めて、町側の人のような形になってしまって住民の方のご意見を賜ってしまうことも、日頃多いと思います。私が言うことではないですが、いつもありがとうございます。

●社会福祉協議会 大橋委員

- ・話しが出ていたことを含めてですが、せつかく計画を作ったことを進めていくにあたって、地域に住んでいる人にいかに情報をうまく伝えていくかが一番の課題であると思います。それからもう一つ、津波防災については、先ほどから指摘もあったように町外から来ている人たちがいかに町内の情報をうまく把握できるかという二つのテーマだと思います。
- ・ですから、災害を経験して感じるのは、日頃から地震や津波がおきたらこうだねと、このを常に住民の目に見えるところに、いろんな表示だとか例えば津波の高さとか、一般住民にここは海拔何mだとか、常に住民の目にふれる表示の仕方や広報の仕方で、地震や津波が起きたらこうなんだろうなということを、もちろん訓練も必要ですが、生活の中に常にそういったことが入っていかなければいけないとおもいます。
- ・町の防災無線の検討の話もありましたが、夜の時間帯ですと家にいて聞くことができるのですが、昼間に防災無線が聞くことのできる範囲に住んでいる住民がかなり少ないと思います。
- ・そういったことを訓練ないし広報、住民同士の伝達の仕方など、その辺が上手くせつかくこういう会議で関係者や企業の協力得ながら、施設も大事ではありますが、情報を掲示して住民の目に触れるようにしていただけるとありがたいと感じます。

●定池会長

- ・ありがとうございます。
- ・平時の普及啓発ということで看板という方法を提示していただいたかと思うんですけども、それだけでなく様々な人に見て頂く方法、それが時間帯や季節もあると思いますが、検討していく時に場合分けをして、季節や時間や住民の生活でパターン分けて検証・検討してご意見を聞いていく必要があると感じました。
- ・関係課の方々も来ていただいておりますが、平時の普及啓発では教育の部分もかかせないところでありまして、看板を見ても看板の意味を読み取って、どういう行動が必要なのかは社会教育や学校教育にも力を借りるところでありますし、地域の学校の中でも住民の方と一緒に防災教育されている学校もあつたりしますので、そういった経験も必要だという示唆に富むご意見を頂いたように思います。
- ・事務局からなにか意見ありますでしょうか。

●事務局

- ・ご意見ありがとうございます。
- ・避難誘導の看板については二期計画で検討する予定です。
- ・先ほど防災無線の普及についてお話がございましたが、他の自治体の例で申し訳ありませんが、他の自治体ですと防災行政無線のカバー率が4割～5割とかなり低いです。
- ・厚真町では胆振東部地震の教訓があり、約8割なので比較的高い状況です。そこはご認識の違いがあるかと思われました。厚真町のカバー率は高いということをご認識頂ければと思います。ただ100%ではないので情報の発信の仕方を今後検討の必要はあるかなと考えております。

●定池会長

- ・ありがとうございます。
- ・他の皆様から意見、質問ありましたら、賜りたいのですが、いかがでしょうか？

(無いことを確認)

●定池会長

- ・有村先生、いろいろなご意見いただいた中でいかがでしょうか？

●有村副会長

- ・いろいろお話を聞く中で、住民の方々のコミュニティが薄れていく中で、こういった非常事態のことを想像し辛い中で質問されても答えづらいということと、人前で話すことは住民の方は慣れていない方が多いと思いますので、どうやって意見を引き出すかというところで勉強会が必要という話は納得しました。
- ・ただ、その時に時間をどれだけかけられるかということもあります。大学生向けの授業の中で、避難所運営ゲーム北海道版(Doはぐ)のマニュアルを使い、避難所が1995年の阪神・淡路大震災の時から徐々によくなって、いま段ボールベッドに変わった写真を見せます。なかなか意見が言えないということであれば、写真で見るとわかりやすいので、そういった工夫をしていくことが必要と思いました。
- ・推進計画が第二期になり、項目そのものがあまり変わらない中で何をどう高めていくかというのがポイントになると思います。たとえば先ほど港の話が出てきましたけれども室蘭は港湾BCPが策定されていて、胆振東部地震のときには発動されませんでし

たが、苫小牧港もあわせて策定されていると思います。港湾BCPのような各企業が持つBCPを、津波防災地域づくり計画の中で、どこがどう連携していくか結構大事なのかなと思います。会議の参考資料2-1の計画のP3図1-2に町の業務計画が整合性を保つ形で書かれているのですが、実は民間や住民側の計画も図の周りに関わっていくはずで、これをうまく取り込む形で改訂いただければと思います。つまり民間側のBCPでエリアをどうするかは企業が考えているはずで、この図を拡張していただければとおもいます。また、いろいろ議論しながら進めて頂ければと思います。

●事務局

- ・貴重なご意見いただきましたので、BCP含めて今後検討していきたいと思います。ありがとうございます。

●定池会長

- ・ありがとうございます。

●浜厚真自治会 館山委員

- ・この協議会に女性の委員がないのはなぜかとずっと考えていました。女性の視点で我々が気づかない部分に、気づく部分はあるかと思います。意図的に委員に女性がないのでしょうか。
- ・これから建てる避難施設の中身についても、男性の意見だけで進めていいのか悪いのか、計画が具体的になると心配になってきたので、女性の意見を取り入れて進めたほうがよいのではないかと思います。

●事務局

- ・ありがとうございます。
- ・女性を意図的に排除しているわけではないのですが、今回の協議会立上げの時にそれぞれ関係団体をお願いした方が現メンバーなので、女性に関しての配慮が欠けていたことは否めないと思います。今後実施する懇談会やヒアリング等で女性の意見も聞いていきたいと思っています。
- ・胆振東部地震の関連で、富里地区に厚北地域防災コミュニティセンター（ならやま）という避難所を住民の方の意見を頂きながら整備した施設があるのですが、採用されたアイディアは、ほとんど女性が考えた意見が採用されています。懇談会等もありますので、なるべく自治会の方からも女性の方の参加をご協力お願いできればと思います。

●定池会長

- ・ありがとうございます。
- ・町の防災会議には女性の委員が加わるようになりましたけれども、ジェンダーバランスに関してはこういった協議会等でも考慮していただければと感じております。
- ・先ほどの有村先生のお話の中でありました、Doはぐは私自身も作成メンバーであり、道が作ったものを活用していただいているというのも、ありがたいと思って拝聴しておりました。
- ・情報をどう受けとって、自分の意見としてどう出していくかに関しても示唆に富むご意見を頂きました。
- ・みなさま、ほかにご意見はいかがでしょうか。

(ないことを確認)

●定池会長

- ・いま頂いた様々なご意見を踏まえながらこの検討を進めていくということで、その際にみなさまからのご意見を反映していくということでお願いしたいと思います。
- ・今年度の協議会はこのように進めていきますが、第2回は書面開催となります。
- ・それに関して意見はありますでしょうか？

(ないことを確認)

●定池会長

- ・第2回協議会は書面開催となりますが、その間、懇談会ですとか検討会を進めてまいりますし、推進計画の草案を作っていくという作業がありますので、皆様にご協力をお願いしたい、情報を伺いたいとお願いすることもあるかと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。
- ・では、以上で議事を終了しまして、進行を事務局にお返しします。

**5 閉会**

(2024meet up ATSUMA 津波防災啓発アンケート結果 について報告した)

以 上

◆会議等写真

